

# 公的統計のミクロデータを 使って分析してみませんか?

~公的統計データの新たな利用方法(オンサイト)のご案内~





公的統計の調査結果は、公表されている集計表に加え、ミクロデータを使用すること により、研究者の方々は更に多様な分析を行うことができるようになります。

## ミクロデータ(調査票情報)とは?

総務省など国の行政機関で実施した統計調査の結果は、ホームページ(政府統計 の総合窓口 e-Stat) 等を通じて広く一般の方にご利用いただいています。

このような調査結果の提供に加え、公益性のある学術研究等にご活用いただくため、 調査対象の秘密の保護を図った上で、世帯単位や事業所単位といった集計する前の個 票形式のデータを提供しています。

この個票形式のデータをミクロデータ (調査票情報) と言います。

ミクロデータ(調査票情報)を用いることで、研究者の方々は、より自由で多様な 分析を行うことが可能となるため、新たな発見につながることが期待されます。



### ミクロデータ(調査票情報)のイメージ

19702 9547 895,2667 207854 14552 12301 2486 26726 895.2667 4162 185110 12146 977.1799 977 1795 977.1795

行政機関は、ミクロデータ(調査票情報)を 集計して、調査結果を作成しています。

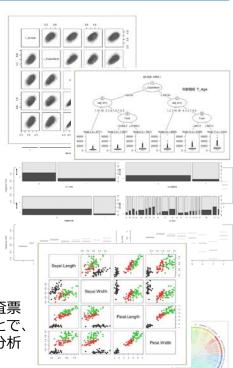
よる

調査結果は、「政府統計の総合窓口(e-Stat) | 等を通じて公表・提供しています。

https://www.e-stat.go.jp/

※データは擬似データです

ミクロデータ(調査票 情報)を用いることで、 より自由で多様な分析 が可能になります。



## オンサイトでのミクロデータ(調査票情報)の利用

## オンサイトとは?

オンサイトとは、情報セキュリティが確保された環境で、許可を受けた研究者がミクロデータを用いて、独自の集計・分析を行うことができる専用室です。

2019年5月時点で、9大学において開設されています。



入退室管理や監視力メラを備えたオンサイト室

## オンサイトでできること

- オンサイト内に設置されたPCを用いて、利用申出を行った公的統計のミクロデータを使った研究分析を行うことができます。
- また、研究者が用意したデータやプログラムも利用することができます。
- 分析した結果については、セキュリティ保護の観点等から、所定の審査を経た 上で提供を受け、利用することができます。

統計データ利活用センターでは、データ利活用の促進を 図るため、各地の大学等にオンサイトを広める取組みを 行っています。

詳しくはこちらのHPをご参照ください

https://www.e-stat.go.jp/microdata/data-use/on-site

## ミクロデータ(調査票情報)の利用について

### ○利用できる方・条件

- ・行政機関が行う統計の作成等と同等の公益性を有する場合 例えば、行政機関からの委託研究や行政機関との共同研究、行政機関からの公募に よる補助(科研費等)を受けて行う研究などが該当します。
- ・上記以外にも、令和元年5月1日より改正統計法が施行され、情報保護(オンサイト利用等)を前提として、ミクロデータの学術研究等の利用が可能となりました。 例えば、大学等、公益社団法人又は公益財団法人(公益目的事業に限る)が行う研究、 大学等に所属する教員が行う研究などが該当します。

### ○利用方法について

ミクロデータの利用については、従来から行われている方法(CDやDVDなどの磁気 媒体による提供)と、新たな方法(オンサイト利用による提供)の2種類があります。 統計データ利活用センターでは、オンサイト利用の促進を図っています。

#### 磁気媒体(CD、DVD)による提供



セキュリティの確保全般については、 利用者による対応が必要です



行政機関への利用申請には、あらかじめ<mark>詳細な分析内容</mark>(作成する統計表等)が必要です



調査票情報のうち、分析に必要な最小限 の調査事項に限り提供されます

#### オンサイト利用による提供



セキュリティについては 「オンサイト」により確保されています



行政機関への利用申請には、分析の概要 だけ必要になります



調査票情報の全ての調査事項の提供を受けることが可能です

(お問合せ先)総務省統計局・独立行政法人統計センター 統計データ利活用センター E-mail g-rikatsuyou@soumu.go.ip TEL 073-425-0205